

## 議 事 録

会 議 の 名 称	第 12 回小美玉市小学校（小川小学校・橘小学校）統合準備委員会
開 催 日 時	平成 2 9 年 1 2 月 1 9 日（火） 1 9 時 0 0 分～
開 催 場 所	小川総合支所 3 階 大会議室
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <p>小川錬太郎 千葉 栄子 川名 美佐 安田 健          岡根 典子 佐谷 雅義 清水 直樹 高野 一郎          稲野邊 緑 柏 敬祐 石田 昇 水内 幸恵          市村小枝子 小島 健一 平本 敏彦 近藤 貞夫          藤井 敏生 笹目 雄一 谷仲 和雄 植木 弘子          内藤裕一郎 長島 主</p> <p>【欠席委員】</p> <p>伊野 勝亮 東 邦彦 長島 美穂 大塚 好藏          戸塚 真樹</p> <p>【事務局】</p> <p>加瀬 博正 石田 進 中村 均 佐藤 雅記          植田 薫 内田 真基 戸塚 聡 田村 直弥</p> <p>【その他】</p> <p>藤代 範雄</p>
協 議 案 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校章案の発表・選定</li> <li>・総務・通学部会からの報告</li> <li>・PTA部会からの報告</li> </ul>
会 議 資 料	別 紙 ( 会議次第、 他 )
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開    (傍聴者 0 人)

【協 議】

(1) 校章案の発表・選定

委員長 資料について、事務局よりお願いしたい。

資料 1、当日配付資料に基づき、事務局より説明

事務局 資料 1 は、選定までの流れと選定についての案を記載した。当日配付した資料は、校章案 3 点に関するものになっている。カラーで印刷しているが、紙やプリンター性能の違いにより、原案と異なる色合いとなっている。原案は、会場前方に掲示したので、質疑の前に確認していただきたい。

委員長 選定までの流れは、藤代氏から発表いただき、その後に質疑、選定となる。選定については、意見をいただきたい。案としては、発表、質疑の後、無記名による投票としている。これについて、意見をいただきたい。

－ 意 見 な し －

委員長 では、案のとおりとし、票を 1 番多く得た案を小川南小学校の校章とするということではよろしいか。

－ 異 議 な し －

委員長 では、発表をお願いしたい。

藤代氏 小美玉市から、9 月頃に校章関係のデザイン案作成依頼があり、その発表として出席させていただいた。3 案の発表をしたい。校章は、全国津々浦々の至るところに小学校、中学校、高校、大学があり、様々なものがある。私のイメージとしては、これから先の 21 世紀、22 世紀までを考えた、しっかりとしたシンボルを作ろうということでデザインした。伝統とこれから説明する要素を全部踏まえたものとした。霞ヶ浦や筑波山といったものや、環境の良さ、子供たちがすくすく育つといったものを念頭にデザインを起こした。

まず、A 案から説明する。委員に配付されている資料と原案では、プリンターの性能により色が違っている。

委 員 デザインも変わっているだろうか。

藤代氏 色々と考えた結果、変わっている。掲示したものが最新案となる。これまでの A 案は、上部にある「小川」の字の「小」が少し曲がっており、複雑になっていた。もう少し読みやすく、分かりやすくということで変更した。このような伝統的なものは、慶應義塾などの大学系が多い。何故、このように大学系としたかと言うと、小川南小学校から博士号を取れるような人が多く出てもらいたいということで作成した。また、校舎に校章を設置した場合、旗に入れた場合の例も掲示した。なお、校章案の詳しい説明は、配付資料の下段に記載している。

次に B 案を説明する。「M」を水のようにして作成した校章案となっている。これについても、先ほどと同じような考えで作成した。これは、流行りの今

風のデザインになっている。この案は、例えば、色がもう少し濃くても良い。委員に配付した資料の案では、小川の「川」が真っ直ぐになっている。最新案では、少し広がったものとなった。この案についても、地域、将来に向けたものを願って作ったものになっている。

次にC案を説明する。これも最新案では、小川の「川」が少し広がり、見やすくなっている。また、中心の「S」は、ペン先をあらわしている。これは、慶應義塾などでもよく使っている。色は、必ずしも案のとおりの色ということではない。これは私の案であり、委員が違う色にしてほしい、色を分けてほしいといった意見があれば、そういった案も出すことができる。

B案は、今の流行に乗っている。C案はどちらかというと伝統的になっている。伝統的であるが、小学校ではあまりないものになっている。形は同じようなものがあるが、こういったシンプルさは持っていない。帽子や旗につけても良い。

そういった3パターンを作成した。どれも良い。A案は配付資料のような色でも良い。どの色でも良いが、これ以上明るくすると品が落ちる。伝統的なものが落ちてくる。色の仕上は、全て指定できるので、委員が着ている黄色い服のような色も良い。色気は、原作者が決して文句を言うことはない。そういった色使いになっている。しかし、B案の色ではおかしくなる。やはり、A案はイエロー系になる。また、50年後、100年後も飽きないものになっている。B案は、30年、40年後は飽きる。しかし、途中で学校のマークを変える場合、B案で良い。30年後に色だけ変えることもできる。B案にある3つのものそれぞれで色を変えること、赤、青、黄、フランス国旗の色とすることもできる。そういった要素を持っている。C案は2つをかみ合わせ、シンプルにデザインを起こしたものになっている。A案とC案は、50年、100年後でも、決しておかしくない。そういった特徴を持っている。また、2色使うということがよくあるが、印刷代が高くなるということもあり、あまりやるものではない。できれば1色の方が良い。

委員 字の太さは、どうなのか。

藤代氏 この案より太さを変えるとおかしくなる。バランスが合ったものとなっている。上下の位置を変えてもおかしくなる。こういったアイディアは、ハーモニーとリズムとバランス、3つの要素で全部できあがっている。色は12色が基本色であり、それと明度によって何十色もできる。

委員 そのサイズで描かれているので、その太さということか。倍率が高くなるということか。

藤代氏 そのようになる。いくら伸ばしても、全くおかしくないようになっている。例えば、校章が校舎を覆うくらいの大きさになった場合も、決しておかしくない。そういった要素を持っている。

委員 現在、ジャージの現物はあるだろうか。

事務局 こちらにはない。

藤代氏 どのジャージにどの案をつけても良い。どれもおかしくない。

委員 校舎の壁にはプリントとするのか、立体となるものとするのか。

事務局 ここにつけるとこうなるというような、1案となっている。

事務局 今のところ、校舎の色と配置はイメージとなっている。

藤代氏 シンボリックなもので1番大事になることは、旗につけても良い、建物につ

けても良い、どれにつけても良いように作ること。

委員長 近くで確認をしたい場合は、ぜひ見ていただきたい。

藤代氏 全ての案にハーモニー、リズム、バランスの3要素が入っている。

委員 ジャージは、紺色がベースとなっている。紺色に合うものはどれになるか。

藤代氏 A案の色は紺色に合う。C案の色は紺色に合わないが、白縁にすると映えてくる。

委員 A案の「小川」と「南」の字のバランスは、それが一番なのだろうか。もう少し大きくするということはどうだろうか。

藤代氏 これを大きくすると、全体が長くなってしまったり、バランスがおかしくなってしまう。

委員 B案とC案は、その色となるということか。

藤代氏 私の案としての色であり、B案は小川の新鮮な気持ちをあらわすということで作成している。なので、赤でも青でも良い。

委員 小川南小学校のジャージの色に対してということを見ると、全く見えない状態になる。

藤代氏 濃紺だと、A案が1番合う。C案の色とした場合、白縁をつけると映えてくる。B案も同じ。こういった色の場合は、ほとんど白縁をつけている。あとは、色を変えること。もし、この3点の中で1点に決まれば、何色にするといった色のバランスも全て出す。

委員 B案とC案は、「南小」と入っている上で、さらにサウスの「S」や南の「M」といったものを重ねるのか。

藤代氏 それはデザインとなっている。

委員 C案の枠は何をあらわしているのか。

藤代氏 南の「M」を使い、花びらのようにしている。

事務局 本日、この3点の中から1点に絞りこみ、決定としたい。その校章案3点を挙げてもらう前段に協議を行い、デザインは先生に任せるということに一致している。意見を反映してくださるという先生の気持ちは大変ありがたいが、先生のデザインを支持した上で1点に決める。決まったものに対し、色など、多少の補正はありかと思うが、この場でどのように変えるかといったことは無くても良いのではないかと思う。

委員 その旗の色、壁の色に合わせて色が修正されるということか。

藤代氏 形が決まれば、様々な色を提示する。形を決めてもらわないと、まとまらない。もし、この案の色で良ければ、これで良いということになるが、色はたくさんある。

委員長 それでは、デザインの選定に移りたい。

藤代氏 「色をもう少し考えてください」といった意見も書いていただきたい。なるべくそれに応えるようにする。マークは何十年、100年、200年使う可能性もあるので、それをよく考慮していただきたい。私は、その頃を考えて作成している。

委員長 本日の出席委員は22名であり、A案が16票、B案が3票、C案が2票、白票が1票となった。選定の結果、A案に決まった。

藤代氏 では、次はA案の色を持ってくるので、見ていただきたい。明度は、10%、20%、30%、40%というようにある。例えば50%にすると、半分の色なので、色が薄くなってくる。10%だと、ほとんど差が分からない。20%は少し薄い、30%は更に薄い、そのようになる。そういった色を出していくので、選んでいただきたい。

## (2) 総務・通学部会からの報告

委員長 総務・通学部会からの報告をお願いしたい。本日は、部会長が欠席なので、副部会長をお願いしたい。

資料2に基づき、千葉副部会長より説明

副部会長 第10回の部会を11月28日に開催した。小川南小学校校歌素材募集を平成29年10月26日から11月17日に実施し、応募のあった校歌に取り入れたい言葉、校歌のイメージ等について協議を行った。調査検討結果としては、応募のあったものについて、「削除等はないで、全て提供する。」、「協議した内容を伝え、言葉の選び方、表現については、作者に一任する。」、「校歌のイメージ等についても校歌素材と同様に提供する。」とした。また、参考1が協議の際に使用した資料となっており、別紙1が校歌に取り入れたい言葉、別紙2が校歌のイメージ等の一覧となっている。なお、協議の概要は、資料2の下方に参照としてまとめている。

委員長 事務局から補足説明があれば、お願いしたい。

事務局 校歌素材の協議で使用した資料について説明したい。

参考1、校歌に取り入れたい言葉は、854点の応募があった。応募用紙に複数記載されていた場合には、それぞれ集計した。また、集計処理として、「単語」、「単語プラス」、「フレーズ・意見」に分類し、50音順に並べた。複数あったものについて、件数欄に総数を記載した。なお、分類は、応募のあったものを見やすく並び替えるために付けたものであり、単語のみのものを「単語」とし、単語と単語があわさったもの、単語に助詞等がついたものを「単語プラス」とした。また、「単語」、「単語プラス」以外のものを「フレーズ・意見」とした。

校歌のイメージ等は、322点の応募があった。集計処理として、記入してあるとおりに全て記載した。特に多かった「楽しい(楽しく)」、「元気」、「明るい(明るく)」の3点を含むもの、それ以外のものを「いろいろ」としてそれぞれ分類した。分類順、文字数順に並べ、複数あったものについてもそのまま記載した。それらについては、別紙1、2をご覧いただきたい。

委員長 校歌についての質疑に移りたい。質問等があれば、お願いしたい。

－ 質 問 等 な し －

委員長 それでは、調査検討結果として副部会長から報告があったが、報告のとおりとしてよろしいか。

－ 異 議 な し －

委員長 では、部会から報告のあったとおりとする。  
続いて、通学体制・通学路等・スクールバスについて、報告をお願いしたい。

副部会長 「(2) 通学体制・通学路等・スクールバスについて」の報告をしたい。利用者負担について、県内市町村のスクールバス運行状況、昨年実施したアンケート結果及び11月下旬に開催された総合教育会議、教育委員会定例会における市長及び教育委員の利用者負担に対する考え方の報告を基に検討を行った。調査検討結果としては、利用者負担を無しとする市長及び教育委員の考え方に賛同し、利用者負担は無しとすることが望ましいとした。参考2、参考2-1、参考2-2、参考2-3が協議で使用した資料となっている。また、市長及び教育委員の利用者負担に対する考え方は、参照として記載した。

また、運行計画案について、2点の協議を行った。

1つ目としては、日没が早くなる冬季の下校時、乗降場所に最後に到着する時間が午後4時30分頃となり、暗くなってしまうことが心配だという意見があり、バスを増便する提案があった。調査検討結果としては、他の自治体を参考に対応を検討することとした。

2つ目としては、外之内区長から「外之内地区公民館を乗降場所にしてほしい」という要望が事務局及び部会員にあり、今後、同様の要望があった場合の対応について協議した。その参考として、仮乗降場所と外之内公民館の位置を示した資料を配付した。調査検討結果としては、条件等を細かく検討した上で計画しているため、要望に応じることはない。開校後に見直しすることを前提としているため、現在の運行計画案に対して要望があっても、見直しは行わないこととした。

委員長 事務局から補足説明をお願いしたい。

事務局 協議で使用した資料について説明する。参考2-1は、茨城県教育庁義務教育課が実施した県内スクールバス等運行状況の調査結果となっている。参考2-2は、総務・通学部会が昨年実施したアンケートの集計結果、利用者負担に関する設問の抜粋となっている。参考2-3は、そのアンケート集計結果の自由記述欄、利用者負担について記載のあった回答を抜粋したものになっている。また、それらの概要をまとめたものが参考2となっている。詳細は割愛させていただくので、資料の確認をお願いしたい。

続いて、当日配付資料について、説明したい。開校時の児童分布図に仮乗降場所と外之内公民館を表示した。小川南小学校を中心とした大きい青色の円は、おおよそ半径3kmをあらわした円になっている。小さい黒い円は、仮乗降場所を中心としたおおよそ半径1kmをあらわした円になっている。外之内公民館は、空のえき「そ・ら・ら」の下にある青い星印付近となっている。

委員長 質疑に入りたい。まず、利用者負担等についての報告があった。これについ

て、質問等があれば、お願いしたい。

委員 市長や教育委員が無料という考えを表明したということがあり、総務・通学部会においては、全員一致で無料ということを決めた。議会の議決ということがあるが、もし議会では、市がスクールバスは無料ということを提示した際にどのようになるのかということをお教えいただくとありがたい。

委員 先日、議会の一般質問があり、私が無料化にすべきだという質問を行った。教育長と市長からは、今回のスクールバス料金を原則無料にしたいという考えをいただいた。なので、そうなるのだと思っている。

委員長 他に質問等はいかがか。

－ 質 問 等 な し －

委員長 部会から無料という考えとする提案があった。準備委員会としても、無料という方向でよろしいか。

－ 異 議 な し －

委員長 準備委員会の考えとしては、利用者負担は無しということに決定する。次に、運行計画案について、質問等があれば、お願いしたい。また、事務局からいかがか。

事務局 調査検討結果の2つ目である外之内区長からの話について、部会で協議いただき、運行計画案の見直しを行わないという報告があったが、外之内区に限らず、同様の話が他の地区からも出ている。仮乗降場所は、総務・通学部会を中心に何回も協議を重ね、この案となったが、乗降場所の具体的な設置基準等が定まっていない状況となっている。なので、部会員には大変申し訳ないが、次回以降の部会において、乗降場所設置基準に関する議論をいただくとありがたいと考えている。

委員 私は外之内地区在住であり、色々と意見が挙がってきているが、現在の案でも良いと思う。良いと思うが、乗降場所の条件等を聞かれた場合、回答できない。できれば基準等を決めた上での決定としていただきたい。

委員長 事務局から提案があった。仮の乗降場所を示しているが、部会において設置基準を改めて話し合ってはどうかということだった。そういった方向としてよろしいか。

－ 異 議 な し －

委員長 では、乗降場所についての検討を総務・通学部会において行うこととする。

(3) P T A部会からの報告

委員長 P T A部会から報告をお願いしたい。

資料3に基づき、水内部会長より説明

部会長 P T A部会の中間報告をさせていただく。第4回、第5回の部会を開催した。協議事項として、各種委員会事業計画案及びP T A会費についての検討を行い、別紙「小川南小学校P T A規約案」を作成した。今後の予定としては、統合に向けての活動計画、具体的には役員選出、総会開催方法等の検討を進めていきたい。

委員長 別紙で「小川南小学校P T A規約案」が示された。このP T A規約案は、現在の小川小学校、橘小学校のP T A規約を基に作成されたものだと思うが、部会長から委員に意見をいただきたい部分はあるだろうか。

部会長 具体的に挙げると多くなってしまうということがある。この後、P T A総会等において、P T Aの人々に検討してもらおうということではいかがか。

委員長 そういった意見だが、いかがだろうか。

－ 異 議 な し －

委員長 では、小川小学校、橘小学校それぞれのP T Aの人々に検討いただくということとしたい。

#### 【その他】

事務局 次回は今年度最後の準備委員会とし、2月下旬から3月上旬ごろに開催したい。日程が決定次第、通知を送付する。

20:15 閉会